

令和 8 年

第 2 回防府市議会定例会

一 般 質 問

7 月 2 日（7 人）

1 曾我 好則・2 山田 耕治・3 河村 孝・4 梅本 洋平
5 松村 学・6 石田 卓成・7 河杉 憲二

7 月 3 日（6 人）

8 生野 美輪・9 藤本 真未・10 宮元 照美・11 村木 正弘
12 久保 潤爾・13 重田 直輝

7 月 6 日（6 人）

14 原田 典子・15 和田 敏明・16 三原 昭治・17 上野 忠彦
18 田中 健次・19 藤村 こずえ

No.	1	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	今後の市政運営について	これからの4年間、まちづくりをどのように進められるのか、今後の市政運営について、ご所見を伺う。
2	物価高騰への対策について	(1) 中東情勢の緊迫化とそれに伴う物価高騰が本市に与えている影響について、市長の受け止めを伺う。 (2) 今後も物価の高騰が見込まれる中、これからの財政運営についてどのようにお考えか伺う。

No.	2	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	登山を活かした地域資源の活用について	
2	道交法改正に伴う安全対策と環境整備について	
		(1) 市内には、右田ヶ岳をはじめ、市外からも多くの登山客が訪れる自然豊かなレクリエーションの場がある。トイレ設置の要望も多いことから、特に来訪者が多く見込まれる日には、右田ヶ岳へ仮設トイレを設置しては？ (2) 大平山登山道や右田ヶ岳での標識や案内板の設置、休憩所の整備などの安全対策や維持管理、啓発、救助要請について伺う。 (3) 地域観光資源の活用について。登山と連携した観光スポットや宿泊施設の活用で、観光客の滞在時間を延ばし、地域経済を活性化することが重要であるが、考えを伺う。 (4) 次世代の環境意識向上を図るため、子ども達への登山を活かした環境教育の推進について伺う。
		(1) 自転車交通反則通告制度に対する市内の状況とルール周知について伺う。 (2) 生活道路における法定速度の変更について。子ども達が通う通学路での安全対策を考慮する中で、危険個所に対する防犯カメラの設置・推進と、通学路で、子ども達が危険と感じる場所について、デジタル技術を活用した安全対策は？ (3) 市内におけるサイクリング環境の整備状況を伺いたい。また、県では「やまぐち自転車活用推進計画」を策定している。市においても「防府市自転車活用推進計画」を策定してはどうか？

No.	3	河村 孝	
質 問 事 項		要 旨	
1	「命を守る」防災対策について	本年１１月の「防災庁」創設や５月からの気象情報刷新という転換期を捉え、国の新制度活用やデジタル化による情報伝達の最適化に加え、発災後７２時間を生き抜くための「市民防災訓練」の実施、さらに災害関連死を防ぐための「トイレトレーラー」の効果的な運用など、「フェーズフリー」の視点による避難所のＱＯＬ向上を含めた、市民の命と尊厳を守る実効性の高い強靱な避難所環境の整備等、本市の防災対策についてご所見をお伺いする。	
2	安心の医療体制について	山口赤十字病院内の「山口・防府地域夜間こども急病センター」に関し、市民からは市外への移動負担や「なぜ防府市内ではないのか」という戸惑いの声が聞かれる。本市は内科の夜間オンライン診療を毎日開設へ拡充するなど医療体制の強化に努めているが、医療の広域化が進むなかで、子育て世帯へのさらなる支援が必要と考える。 誰もが安心して生活できるよう、医療に関する分かりやすい広報への取組など、子育て世帯への支援についてご所見をお伺いする。	
3	地域クラブの送迎バスをはじめとした、移動時における、こどもたちの安全確保について	学校教育における校外学習や修学旅行は、こどもたちの社会性や創造性を育む貴重な機会である。しかしながら、修学旅行中の事故や部活遠征時のマイクロバスの事故等、高校生が亡くなる痛ましい事故が続いたことから、移動時におけるこどもたちの安全を危惧する声が高まっている。 折しも、本市では５月から地域クラブ活動においてマイクロバスによる移動支援を開始していることから、その安全確保に対する取組についてお伺いする。 併せて、修学旅行等の校外学習における安全確保の取組についてお伺いする。	

No.	4	梅本 洋平	
質 問 事 項		要 旨	
1	大雨等に対する防災対策について	令和８年５月２９日から運用が開始された新しい防災気象情報への対応を伺う。	
2	持続可能な地域公共交通の在り方について	運転手不足や人口減少が進む中で、地域公共交通を将来にわたり維持していくためには、既存交通の確保に加え、利用者目線での改善や新たな移動手段の検討が必要である。令和８年度予算に計上された公共交通等在り方検討会において、ボランティア輸送支援のモデル事業や、高齢者・障害者の運賃助成など、今後どのような到達点と行程をもって検討を進めていくのか伺う。	

No.	5	松村 学	
質 問 事 項		要 旨	
1 県有地の跡地利用について（旧県総合庁舎と現防府警察署の跡地）		市の新庁舎が昨年１月６日に供用開始し、県土木事務所、保健所、文化福祉会館の機能移転も行われ、本年６月１日に平面駐車場の供用開始、現在は令和１０年秋以降の供用開始に向け防府警察署が建設中であり、今後、令和９年７月の供用開始に向け、立体駐車場も建設される予定です。まさに全国でも類を見ない行政ゾーンとなり、今の防府市の勢いを映し出すような拠点となっています。さて、それによって、旧文化福祉会館は解体され、防災公園や三友サルビアホールの駐車場に生まれ変わりますが、警察署は職員駐車場、県総合庁舎は未定と県当局より聞いています。現防府警察署の敷地面積は６，００３．０５㎡、旧県総合庁舎は１０，１５９㎡という広大な敷地であり、市役所の目の前に位置し、近隣には防府胃腸病院や防府駅、イオン防府が所在し、超一等地であり、市民からも防府市の起爆剤になるよう土地の高度利用ができないかとたくさんの声が寄せられます。そこで、以下お尋ねします。 （１）（仮）県有地跡地利用検討会を設置できないか？ （２）特に現防府警察署用地は高度利用の高い用地と考えますが、新たな土地利用が進んだ時点で、警察署の駐車場は旧県総合庁舎敷地へ移設できるよう県と協議できないか？ （３）新たな土地利用が決定した段階で、状況に応じて、市が県よりこの県有地の取得も視野に入れてはどうか？	

No.	6	石田 卓成	
質 問 事 項		要 旨	
1 共同体の崩壊を防ぎ、恢復させる取り組みに向けて		(1) 土地改良区の存続危機と浄化槽補助金の制度見直しについて (2) がんばる地域応援事業について (3) 一般社団法人「まるっと佐波川」の設立と、農村RMOの取り組みについて (4) 行政職員の主体的な地域参画と組織風土改革について	

No.	7	河杉 憲二	
質 問 事 項		要 旨	
1 防府天満宮 表参道のにぎわいの創出について		現在、「表参道にぎわいプロジェクト」が進められているが、取組状況を伺います。また、その一角をなす山頭火ふるさと館の取組の充実も必要と思うが考えをお伺いします。	

No.	8	生野 美輪	
質 問 事 項		要 旨	
1	高齢者等の移動支援 と今後の公共交通施 策について		免許返納者や移動に不安を抱える市民にとって、公共交通は生活を支える大切な手段だが、バス乗り場までの距離や時間の不便さ、タクシー料金の負担等から外出を控えざるを得ないという切実な問題がある。 第6次総合計画では、バス・タクシー運賃助成制度の見直しが掲げられており、市は今年度「公共交通の在り方検討委員会」を設置している。高齢者等の負担感を軽減し、外出機会が増えるような効力のある施策が期待される中、現在どのような課題認識が共有され、どのような施策が議論されているのか、また、今後の取組スケジュールと反映時期について伺います。
2	循環型社会の実現に 向けたごみ施策につ いて		地域において、ごみに関する困りごとをしばしばお聞きする。第6次総合計画では「循環型社会の形成」を掲げているが、実現するための取組について伺う。 (1) ごみ分別のわかりやすい表示と周知について (2) ごみの減量について

No.	9	藤本 真未	
質 問 事 項		要 旨	
1	通級指導教室について	(1) 5歳児健康診査実施に伴う通級による指導の受入体制について (2) 設置状況、利用状況及び今後の整備方針について (3) 通級による指導における目標設定、評価及び終了の考え方について (4) 通級による指導を受ける児童生徒の学習保障について (5) 巡回指導を含めた支援体制の充実について	
2	不登校児童生徒支援と教職員を支える学校づくりについて	(1) 不登校児童生徒への早期対応及び校内連携体制について (2) スクールカウンセラーへの相談状況について (3) 教職員支援について	
3	防府競輪について	(1) 防府競輪の現状評価と今後の方向性について (2) 競輪事業収益の市民還元について (3) ナイター競輪及びミッドナイト競輪を含めた収益向上策の調査研究について	

No.	10	宮元 照美	
質 問 事 項		要 旨	
1 災害時における女性目線を取り入れた避難所運営について		防府市では500名余りの防災士がおられますが、女性防災士の割合は1割程度と伺っています。災害時の避難所運営では女性や子育て世代、高齢者への配慮が不可欠です。そのため女性の視点を取り入れた運営体制の構築が求められています。 女性の視点を取り入れた避難所運営や訓練の実施について伺います。	
2 市道に架かる橋梁について		防府市の橋は728橋あり、そのうち50年以上たっている橋は227橋、補修する橋は88橋あるとされます。その中で市道に架かる昭和橋について伺います。 安全性を不安視する声がよせられています。 そこで次の点について伺います。 (1) 昭和橋の老朽化及び安全確保について、市はどのように認識しているか。 (2) 昭和橋の改修・拡幅または架け替えについて、今後の計画及び見通しはどうか。 (3) 地域住民から寄せられたアンケート結果をどのように受け止め、今後整備に反映していく考えか伺います。	

No.	1 1	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1 自殺防止対策について 2 学校教育環境の安全確保について	最新の厚生労働省による自殺対策白書の分析では、日本の自殺死亡率はG7の中で最も高く、特に若年層（10代～20代）の死因の第1位が自殺となっているのは主要先進国の中で日本のみという深刻な課題が指摘されている。国は「こどもの自殺対策推進パッケージ」で対策を強化するとある。防府市における自殺防止のための取組について伺う。 本年6月に東京都北区の小学校で発生した火災では、児童ら11人が、けがをした。他都市の事例とはいえ本市にとっても学校の安全確保においてきわめて重要な教訓である。避難訓練の実施方法、初期消火設備の設置・管理状況など、児童生徒の命を守るための対策について、ご所見を伺う。	

No.	1 2	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1 5 歳児健診について		こども家庭庁は2028年を目途に、5歳児健診の全国実施率100%を目指している。市においても令和8年度当初予算で、5歳児健診の実施体制整備のための検討委員会の開催が明記されている。 5歳児健診は、それが全ての目的ではないとはいえ、子どもたちの発達特性（いわゆる「発達障害」）の早期発見が重要な目的の一つではないかと考える。 これを機会にいわゆる「発達障害」についての情報・知識を広く保護者に伝え子どもたちの健やかな成長に繋げていてもらいたいと考える。 以下の点について問う。 (1) 5歳児健診検討委員会の内容について (2) 保護者への啓発の状況について (3) 学校支援員の増員と研修について (4) 「発達障害」という呼称について

No.	1 3	重田 直輝	
質 問 事 項		要 旨	
1 防府市役所における職員の長時間労働の実態とその改善について		(1) 防府市役所における職員の長時間労働の実態とその改善について 実態をどのように分析し、どのような所見を持っているか。また、市政の根幹を担う市役所として、多くの職員を抱える組織の役割をどのように認識し、人的資本である職員の働き方について、どのようなビジョンを持ち、これまでどのような改善を図ってきたのか伺う。 (2) 開庁時間の短縮について 開庁時間の短縮を行う自治体が全国的に増加しており、本市においても、職員の長時間労働の改善や市民サービスの持続性の観点から、有効な取組と考えるが、いかがか。	

No.	1 4	原田 典子	
質 問 事 項		要 旨	
1 中小企業支援について		防府市中小企業振興基本条例第四条では、市は中小企業の実態を把握し、社会経済情勢の変化に対応した適切な措置を講ずるよう努めるとされている。ナフサ価格高騰等の影響を受ける市内事業者への支援について伺う。 (1) ナフサ価格高騰等が市内事業者に与えている影響についてどのように把握しているか。 (2) 防府市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえ、本市はどのような取り組みをしているか。	
2 市民サービスを支える職員の休憩環境と福利厚生の充実について		職員の福利厚生や職場環境は、市民サービスの向上にもつながる重要な課題と考える。その中で、会計年度任用職員の休憩環境、働きやすい職場環境づくりについて伺う。 (1) 市役所本館に勤務する正規職員及び会計年度任用職員の人数は何人か。また、各フロアーへの配置状況はどうなっているか。 (2) 庁舎内で職員が昼食や休憩に利用できるスペースは何か所あり、座席数は何席あるのか。 (3) 本市は、庁舎内での働きやすい職場環境づくりにどう取り組んでいるか。	

No.	1 5	和田 敏明	
質 問 事 項			要 旨
1	小・中学校の標準服（制服）の見直しについて		（１）標準服の本来の目的・存在意義を、市としてどのように整理しているのか。 （２）標準服の経済的負担を、市としてどのように認識しているのか。 （３）小・中学校の標準服の見直しを行い、低価格化や公平性の確保、機能性の向上を目指しては如何か。
2	熱中症対策について		（１）本市が無料配布している冷感タオルの使用率や児童・保護者からの評価、効果検証について尋ねる。 （２）他自治体では、より実効性の高い熱中症対策が進んでいるが、これらを参考にして新たに熱中症対策を取り入れていくのか。 （３）スポーツドリンクは熱中症に適しているが、市内、すべての学校で認められているのか。 （４）下校前に熱中症予防に効果的な麦茶の補充はできないか。 （５）冷感タオルの配布に限らず、本市の熱中症対策は「配布して終わり」「各学校任せ」になっていないか。

No.	16	三原 昭治	
質 問 事 項		要 旨	
1 小・中学生のスポーツ・文化活動についての大会等の遠征における移動の安全確保と管理について		去る5月6日、福島県郡山市の磐越自動車道で発生した高校テニス部の部活動遠征によるマイクロバス事故から2か月が過ぎた。高校生たちの平穏な日常が一変し、21人が死傷する痛ましい事故となったが、防府市（市教育委員会）では、この事故を受けて、小・中学校のスポーツ・文化活動における実態等の調査、対応。また、安全管理、確保対策はどのように取り組んでいるのか。	
2 防犯対策について		SNSなどで闇バイトを募り、特殊詐欺や強盗などを行う匿名・流動型犯罪グループ、いわゆるトクリュウによる凶行犯罪が依然として後を絶たないが、防府市としての防犯対策、対応は。また、犯罪の抑止、解決において有効とされている防犯カメラの設置状況は。	

去る5月6日、福島県郡山市の磐越自動車道で発生した高校テニス部の部活動遠征によるマイクロバス事故から2か月が過ぎた。高校生たちの平穏な日常が一変し、21人が死傷する痛ましい事故となったが、防府市（市教育委員会）では、この事故を受けて、小・中学校のスポーツ・文化活動における実態等の調査、対応。また、安全管理、確保対策はどのように取り組んでいるのか。

SNSなどで闇バイトを募り、特殊詐欺や強盗などを行う匿名・流動型犯罪グループ、いわゆるトクリュウによる凶行犯罪が依然として後を絶たないが、防府市としての防犯対策、対応は。また、犯罪の抑止、解決において有効とされている防犯カメラの設置状況は。

No.	17	上野 忠彦	
質 問 事 項			要 旨
1 有害鳥獣の捕獲対策の促進について			令和5年度に「鳥獣被害防止計画」（令和6～8年度）が作成されていますが、その執行状況について伺う。 また、その最終年度に当たり、前年度までの執行状況から、今後どのように促進されるのかについても併せて伺う。
2 中高校生の学習スペースの利用促進について			図書館に隣接するルルサス文化センター本館や市庁舎のオープンスペースにおいて、中高校生の学習スペースとしての利用状況について伺う。 また、公民館等の市所有施設も含め、学習スペースとしての今後の利用促進についても併せて伺う。

No.	1 8	田中 健次	
質 問 事 項		要 旨	
1	地域クラブ活動について	(1) 地域クラブなどへの参加はどのような状況ですか。地域クラブのほかに、公民館での講座・サークル、民間のクラブについては、どのような状況ですか。 (2) 生徒の移動は、どのような状況ですか。公共交通機関と送迎バスの利用者はどのくらいですか。 (3) 障害のある生徒や運動が苦手な生徒が希望に応じて参加できるクラブやボランティア活動的なクラブを整備すべきではないか。 (4) 課題を明らかにするため、生徒のアンケート調査が必要ではないか。	
2	鉛製給水管の撤去について	(1) 鉛製給水管は、鉛の慢性毒性のため撤去が進められてきましたが、防府市の状況はどのようなになっていますか。 (2) 邸内の鉛製給水管の交換に対して、補助制度を検討すべきではないか。	
3	小・中学校での生成 A I の利活用について	第 3 次市教育振興基本計画において、「教育 D X の推進」として、学習指導において生成 A I を適切に運用するという記載がありますが、児童・生徒が生成 A I を利用することを考えられているのか。	
4	高次脳機能障害者支援法について	令和 8 年 4 月 1 日からの法施行に対して、防府市はどのような対応をされてきたのか。	

No.	19	藤村　こずえ	
質　問　事　項		要　　　　旨	
1	本市における農業政策の推進と「地域計画」の具現化について	我が国の農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、本市の農業を守り、次世代へと確実に繋いでいくためには、「人（担い手）」「もの（作物）」「土地（基盤整備）」の三位一体となった再構築が待ったなしの課題である。これらはどれか１つが欠けても、これからの持続可能な農業を成り立たせることはできない。 農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、地域農業のあり方や、１０年後の農地利用の姿を明確に描く「地域計画」の策定が義務付けられ、本市においてもすでに、１７地区において策定したところである。しかしこの将来設計図を単なる「絵にかいた餅」に終わらせず、真に実効性あるものとするためには、生産効率を高めるほ場の整備を進めていく必要がある。 本市における、ほ場整備の進捗状況と、これからの進め方についてご所見を伺う。	
2	市制施行９０周年の取組について	大きな節目となる市制施行９０周年を迎えた。８月に記念式典が行われ、多くの記念事業も予定されている。９０周年を契機とした取組について、今後の展開を伺う。	

